

石川県志賀オフサイトセンター



オフサイトセンターは、万が一の緊急事態に備え、災害時の現地対策本部となる建物である。災害が発生しても機能を損なうことなく、一定期間適切な対応ができる施設として整備する。



1階玄関ホール



2階合同対策室





災害に強い施設 建物は免震構造を採用し大地震から建物を守り、想定される停電、断水等の際も稼働できるように、バックアップ付の自家発電設備、無停電電源装置飲料水タンク、中水、汚水タンクを備えている。
原子力災害に対しては、コンクリート壁、床、屋根による放射線防護、放射性物質除去フィルター付き換気扇、鉛入り防護ドア、建物の陽圧管理などにより放射線や放射線物質の侵入を防止する。

景観に配慮した施設 隣接する住宅地や周辺の自然環境に配慮し、高さは必要最小限に抑え、形状はシンプルな矩形とし、外壁は薄茶系統の軽快な色合いとし、周囲の景観に溶け込む色を選択している。

コスト縮減 免震装置の方式を絞り込むことによるコストの削減。
地下外壁防水の保護材を専用品から汎用品に変更し、コストを削減。

長寿命化 免震ピットを利用し、免震装置や設備配管のメンテナンスが容易にできるよう配慮した。

 **県産材使用** 型枠の大引き等に杉の間伐材を利用

 **環境配慮** 屋根、外壁に高性能の断熱材を使用。
高効率エアコン採用。

DATA

⑥業務事業施設
羽咋郡志賀町西山台地内
平成26年2月～平成27年3月
鉄筋コンクリート造：地上2階
延床面積2,791.51㎡